



NAGASAKI
MONO-GRAPH

13

—

株式会社 ディアー・カンパニー

カブシキカイシャ ディアー・カンパニー



鹿の恵みをおすそ分け

24ヘクタールの広大な敷地に放牧された1000頭もの鹿たち。雲仙国立公園の豊かな緑に包まれ、雲仙岳の清らかな水を飲み、自社で栽培する無農薬の牧草を食べながらのびのびと暮らしている。ここは漢方薬の精力剤として重宝される鹿の袋角の生産を目的に、1977年にスタートした日本初にして日本唯一の薬用鹿牧場だ。強みは主力商品である角を刈り取って加工し、販売までを自社で一貫して行えること。健康志向の高まりもあり、30代～90代まで幅広い層に支持されている。最近ではホルモンバランスを整える効果が期待できるとあって、若い女性の購入者も増えているという。また社内には屠畜場も設置され、肉を解体した加工品も好評。その際に出る鹿革は「ディアスキン」と呼ばれ、最高級品レザーとしての需要が高まりつつある。そして現在、骨と肉を使った犬用のペットフードを新たに開発中。鹿のすべてを知り尽くしたスペシャリストとして、その地位を不動のものに。

安心安全で高品質な
雲仙牧場鹿の製造による
ブランド化と海外進出事業

| 補助事業のきっかけ |

無農薬のおいしい牧草を栽培し
安心安全な鹿の生産を目指す

鹿たちが毎日たっぷり食べる牧草。角は健康食品として、肉はソーセージやハンバーグなどの加工品にして販売しているため、鹿にとっても消費者にとっても安心安全であることが不可欠と考える。そのため産地が分からないものを食べさせるよりも、無農薬の牧草を100%自社で生産することによって、より質の高い鹿を育てたいという思いを強くした。

| 事業取組の内容 |

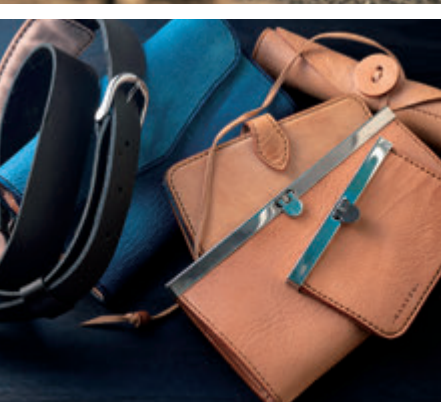
最新の機械を導入することで
さらなる質と効率を高めたい

大きく分けて3つ。まずは無農薬の牧草を生産するための移動式刈り取り機、備蓄用の乾燥牧草をつくる上で欠かせないロールベアラーを購入。主力商品である鹿角においては、微粉末化を求める製薬会社のニーズに応えられるよう、新たに鹿の袋角粉末機を導入した。また食の安全性を考慮し、より性能の高いソーセージの腸詰機とスモークハウスも新調。

| 補助事業の成果 |

生産性がみるみる上がり
取引先との信頼関係もアップ

牧草刈り取り機とロールベアラーの購入により、牧草が余るほど生産することが可能に。その結果、よりよい土地を牧場用として充てることができた。また鹿角に関しても目に見える効果が。原料系の機械を導入する以前は卸の売上げが20%ほどであったが、それが40%と倍近くにまで跳ね上がり、原料としての信頼が高まりつつあるのを実感している。



Information	会社名	株式会社 ディアール・カンパニー
	住所 連絡先	南島原市口之津町甲2351 ☎0957-86-3669 FAX.0957-86-3855 https://www.deercompany.co.jp ✉all@deercompany.net
<ul style="list-style-type: none"> □代表取締役 八木 紀子 □設立 1989年1月25日 □資本金 5000万円 □業種 食料品製造業 □従業員 7名 		